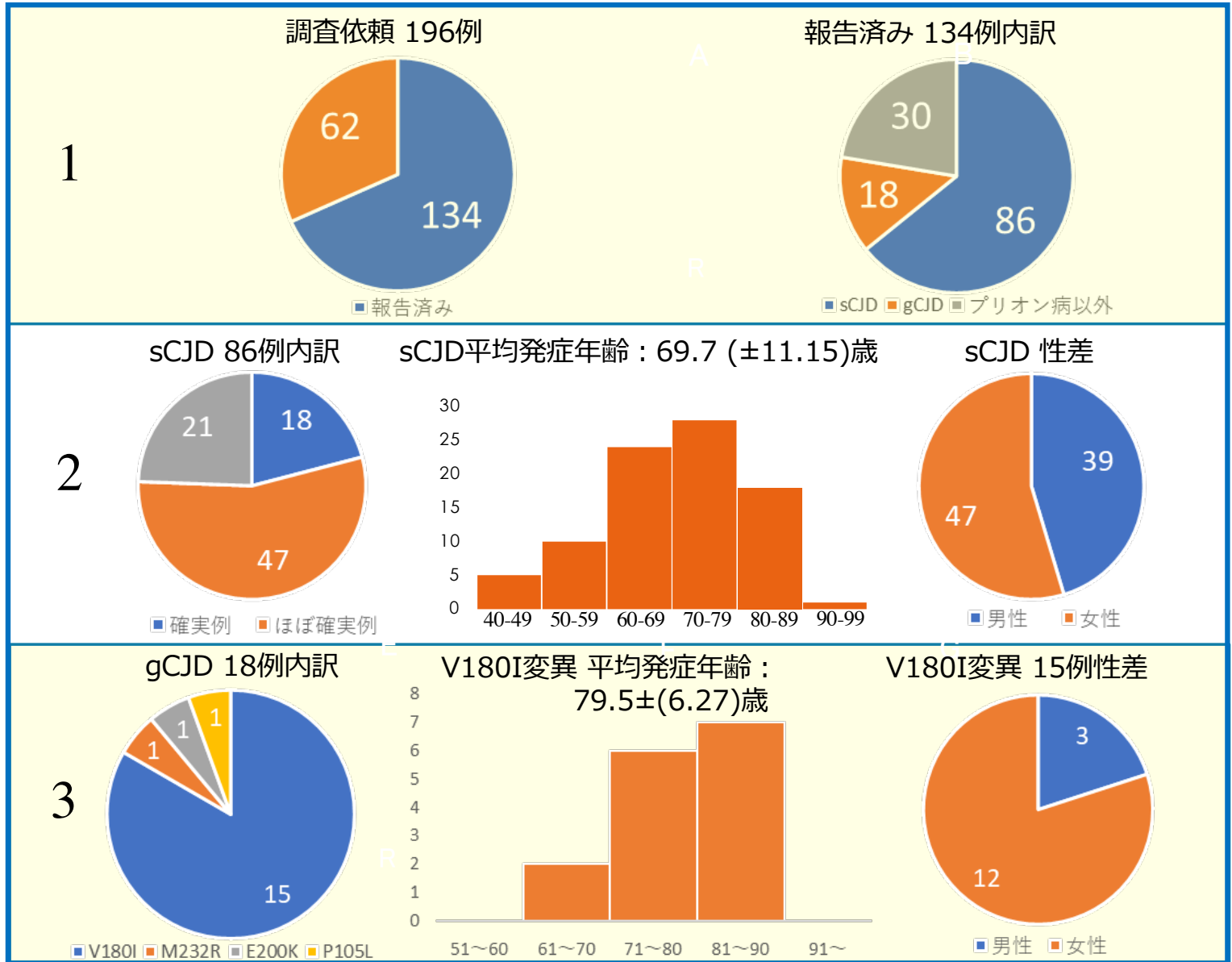


## 平成29年4月から令和4年2月までの愛知、岐阜、三重の3県におけるプリオン病サーベイランス結果

研究分担者：愛知医科大学神経内科 道勇 学



### 解 説

1. 期間中196例の調査依頼があり、このうち、検討委員会において報告したのは134例。内訳は、sCJD 86例、gCJD 18例、プリオン病以外の症例 30例であった。
2. sCJD 86例(確実例18例、ほぼ確実例47例、疑い例21例)の平均発症年齢は69.7歳で、男女比は男性39例(45.3%)、女性47例(54.7%)であった。
3. gCJD 18例はV180I変異15例、M232R変異1例、E200K変異1例、GSS(P105L変異)1例。V180I変異症例は平均発症年齢79.5 (±6.27)歳で男性3例、女性12例であった。